

5月18日に新潟地方気象台が発表した1か月予報（5月20日～6月19日）では、向こう1か月の気温は高い見込みであり、降水量、日照時間はほぼ平年並みの見込みです。稻の活着後は浅水管理で分けつの発生を促し、良質茎の確保に努めましょう。

稻作技術情報

～倒れない稻を目指した取り組みの6つのポイント～

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 田植後25日で茎数確認！ | 2. 中干し開始は280本/m ² ！ |
| 3. 中干しに併せて溝切り！ | 4. 中干しは小ヒビ程度！ |
| 5. 中干し終了は7月5日頃！ | 6. 中干し後はケイ酸補給！ |

1. 田植後25日で茎数確認！

適期中干しを行うことは、収量・品質の安定化に繋がるため、田植え後25日頃に茎数を確認し、中干し開始時期の把握に努めましょう。

- 茎数の数え方は、右記の図を参考にし、茎数（主茎・分けつ）を数え、圃場全体と照らせ合わせ、生育量を確認。
- 圃場ごとに生育量が異なるため、1圃場1株以上は茎数を確認。

2. 中干し開始は280本/m²！

中干し開始は、目標穂数の8割が確保されたときから始めましょう。

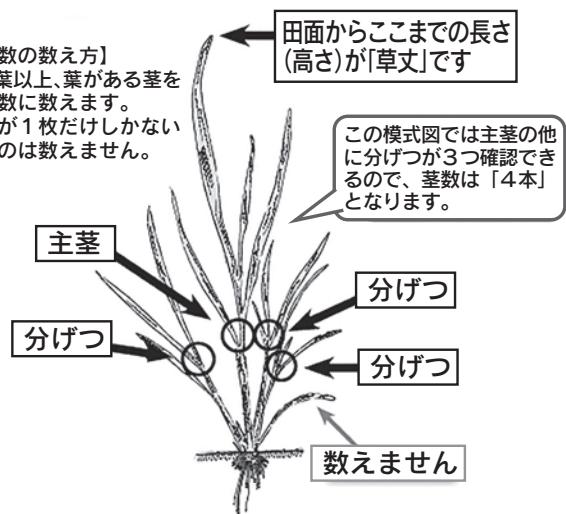
- 管内の目標穂数は350本/m²で、その8割が280本/m²。
- 280本/m²は、株当たり茎数で15～18本/株。

【中干し開始適期の圃場】

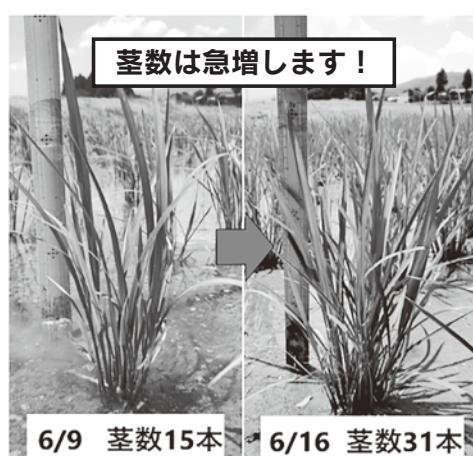


【茎数の確認方法】

- 【茎数の数え方】
- 2葉以上、葉がある茎を茎数に数えます。
 - 葉が1枚だけしかないものは数えません。



茎数は急増します！



中干し指導会開催予定です！

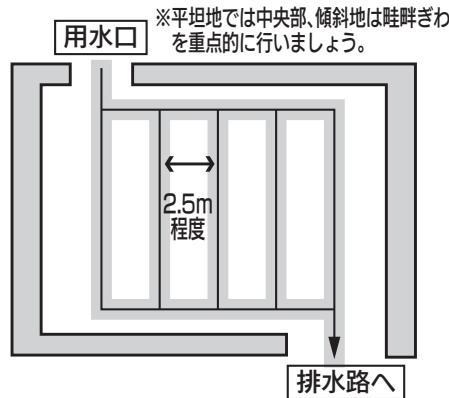
詳細につきましては、4～6ページをご確認ください。

3. 中干しに併せて溝切り！

中干し効果の増大と、後半の水管理を容易にするために溝切りを実施しましょう！

- 落水後3～5日後に溝を切り、溝の深さは10cm以上。
- 各溝の末端は連結させ、水口、水戻と必ずつなげる。
- 溝の本数は10a当たり6～8本が理想。

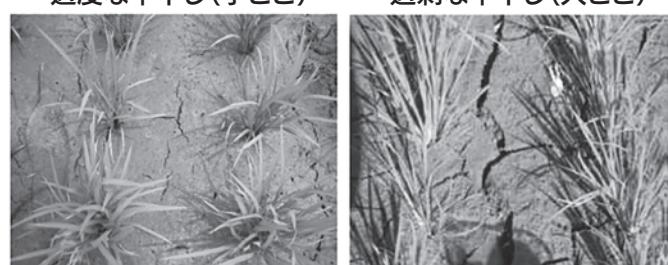
※条件にあわせた、溝の本数と間隔にする。



4. 中干しは小ヒビ程度！

中干しにも適正な程度があり、田面に小ヒビが入り、歩いた際に軽く足跡がつく程度が理想です。

- 中干しが弱いと、生育過剰や倒伏により収量・品質の低下を助長。
- 中干しが強いと、根が切れ生育不良や登熟不良などにより品質低下等を助長。



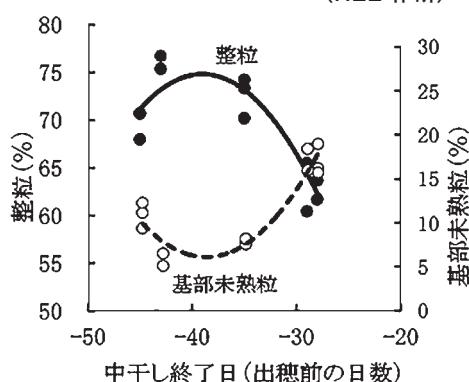
5. 中干し終了は7月5日頃！

中干しは出穂1ヶ月前(7月5日頃)が終了時期の目安です。穂の形成が始まった後まで中干しを続けていると、根域の縮小による品質低下を助長します。

- 中干し終了後は、根の健全化を図るために、浅水の間断灌水を実施。
- 長期湛水は、根の酸素不足等により根腐れと下位葉の枯れあがりを助長。

【中干し終了時期と基部未熟】

(H22 作研)



6. 中干し後はケイ酸補給！

ケイ酸質肥料を中間施肥することで、受光態勢の向上、稲体の活力維持、病害への抵抗性増加、高温時には葉面温度を上昇しにくくする効果が期待できます。

元肥一発肥料を施用された場合でも積極的に中間追肥を実施しましょう。

肥料名	保証成分量% (他含有成分量%)	基準施用量 (kg/10a)	使用時期	特徴
魚沼口マン グルメエース	リン酸:6 苦土:10 マンガン:0.1 ホウ素:0.1 (ケイ酸:約16 銅・鉄・亜鉛:微量元素)	20～40	6月下旬 ～ 7月上旬	リン酸・苦土・ケイ酸に加え、微量元素を多く含むバランスの良いマルチ肥料。
スーパーシリカ プレミアム	ケイ酸:30 アルカリ分:40 苦土:2 (リン酸:2.7 マンガン・鉄:微量元素)			高溶出のケイ酸を含有しているため効率よくケイ酸投入できる。
とれ太郎	リン酸:6 苦土:12 ケイ酸:30 アルカリ分:40 (石灰:34～38 鉄:3～4)			ケイ酸の他にリン酸、苦土、石灰をバランスよく含んでいる総合的な土づくり肥料。
けい酸加里 プレミア34	カリ:20 苦土:4 ホウ素:0.1 ケイ酸:34 (鉄:2～5 アルカリ分:7～12)			ケイ酸分を豊富に含み、また含まれるカリは緩効性のため効率よく吸収される。

～田植え後の本田管理について～

1. ワキ・アオミドロ・表層はく離対策

(1)ワキ（メタンガス）の発生が著しいと、根の活力低下に繋がります。夜間落水を行い、ガス抜きと酸素供給に努めましょう。

発生程度	ワキの状況	水稻への影響	対応策
中	水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する。	・根の活力低下 ・根張り不良	・夜間落水
多	晴天時、自然に気泡を発生して、足を踏み込むと著しく気泡が発生する。	・根の伸長阻害 ・地上部の黄化	・間断灌水

(2)アオミドロや表層はく離が多発すると、除草剤効果の低下や薬害リスクを助長します。
発生が確認された場合は、浅水管理や夜干し、モゲトン粒剤の施用を検討しましょう。

2. 後発雑草のおすすめ除草剤

取りこぼした雑草や後から発生した雑草を中期・後期剤で防除しましょう。

※使用前にラベルの確認を行ってください。

品名	成分数	使用量 (10a当り)	使用時期	使用方法	適用雑草				
					ノビエ	ホタルイ	クログワイ	オモダカ	クサネム
クリンチャー	1キロ粒剤	1	1kg	湛水散布	4葉期	×	×	×	×
			1.5kg		5葉期	×	×	×	×
	ジャンボ	20個 (1kg) 30個 (1.5kg)	移植後7日～ノビエ4葉期 但し、収穫30日前まで		4葉期	×	×	×	×
			移植後25日～ノビエ5葉期 但し、収穫30日前まで		5葉期	×	×	×	×
トドメ MF	1キロ粒剤	1	1kg	湛水散布	5葉期	×	×	×	×
	乳剤		散布薬量：200ml 希釈水量：25～100ℓ		7葉期	×	×	×	×
ナイスミドル	1キロ粒剤	3	1kg	湛水散布	4葉期	4.0葉	10cm	矢尻葉抽出前	△
ゲパード	1キロ粒剤	4	1kg	湛水散布	4葉期	花茎20cm	30cm	矢尻葉3葉期	○
バサグラン	粒剤	1	3～4kg	落水散布または、ごく浅く湛水して散布	増殖中期	15cm以下	発生初期	×	
	液剤		散布薬量：500～700ml 希釈水量：70～100ℓ		増殖中期	15～30cm	増殖初期	本葉1～2葉期 10cm以下	
クリンチャー バス ME	液剤	2	散布薬量：1000ml 希釈水量：70～100ℓ	落水散布または、ごく浅く湛水して散布	5葉期	増殖中期	発生盛期	発生盛期 5～15cm	×
ウイードコア	1キロ粒剤	3	1kg	湛水散布	4葉期	4葉期	20cm	約30cm	約30cm

基本技術の励行による丈夫な稲づくり! 中干し指導会のご案内

令和5年産米

～安定した品質・収量の確保に向けた栽培基本技術の確認と徹底～

安定した品質・収量の確保に向けて重要な基本技術である「中干し」をを迎えます。適期に中干しを開始することで過剰生育の防止による良質茎の確保と倒伏防止を図りましょう。多くの方よりご参加をお待ちしております。

開催日程表《大和会場》

東地区

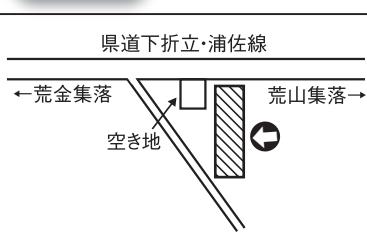
《雷土》



開催日時

6月13日(火)
夕方 18時30分~

《桐沢》

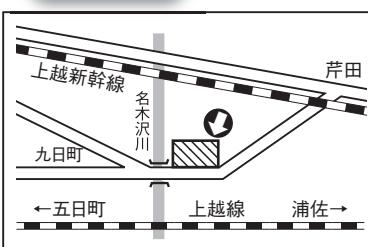


開催日時

6月13日(火)
夕方 18時30分~

敷神地区

《九日町》



開催日時

6月13日(火)
朝 6時~

浦佐地区

《五箇》

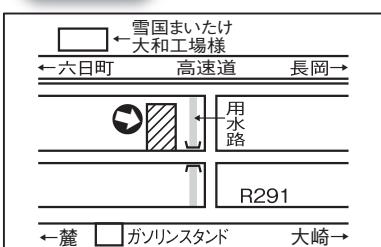


開催日時

6月13日(火)
朝 6時~

大崎地区

《水尾》

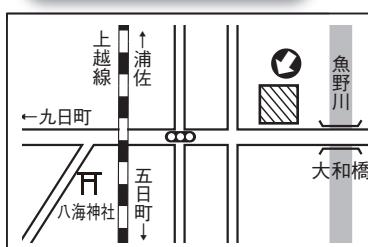


開催日時

6月12日(月)
夕方 18時30分~

土曜日開催

《大和カントリー》



開催日時

6月17日(土)
朝 7時30分~

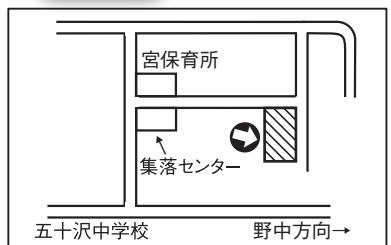
お問い合わせ : JAみなみ魚沼営農指導課

(アグリセンター大和 : Tel 777-3786 しおざわ基幹センター : Tel 782-1171)

開催日程表《六日町会場》

五十沢地区

《宮》



開催日時

6月12日(月)
夕方 18時30分~

六日町地区

《欠ノ上》



開催日時

6月13日(火)
朝 6時~



城内地区

《新堀》



開催日時

6月12日(月)
夕方 18時30分~

大巻地区

《青木新田》



開催日時

6月13日(火)
夕方 18時30分~

土曜日開催

《六日町カントリー》



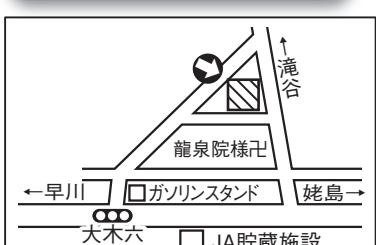
開催日時

6月17日(土)
朝 7時30分~

開催日程表《塩沢・湯沢会場》

土曜日開催

《しおざわカントリー》



開催日時

6月10日(土)
朝 7時30分~

塩沢地区

《天野沢》



開催日時

6月13日(火)
夕方 18時30分~

湯沢地区

《神立》



開催日時

6月15日(木)
夕方 18時~

夏野菜の栽培管理について



1. 仕立て（整枝）方法

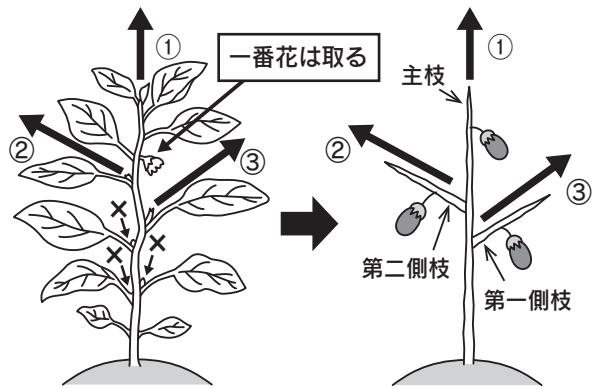
仕立て（整枝）を行うことにより、収穫量の増加や収穫期間を延長できます。
主だった夏野菜の仕立て（整枝）方法をご紹介します。

(1) ナス

「三本仕立て」が一般的です。1番花の咲く枝が主枝（①）で、この枝とすぐ下の枝（②）と、更に下の枝（③）の3本を伸ばして育てるやり方です。



1番果は、その後の生育負担となるので早めに摘みとりましょう。

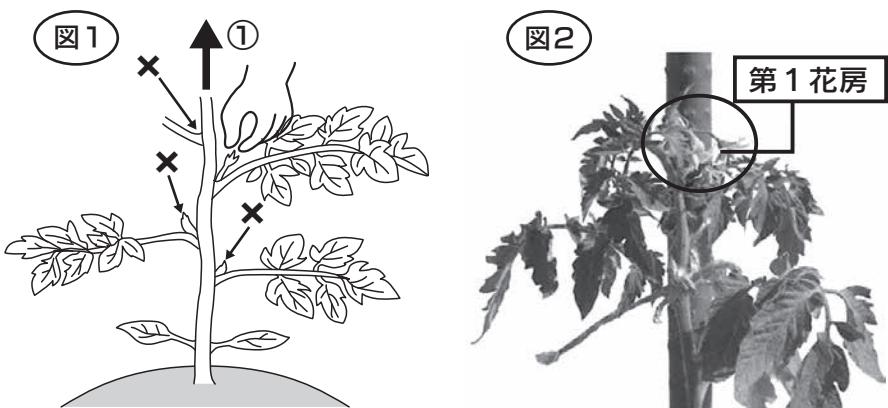


(2) トマト

「1本仕立て」が一般的で主枝（①）だけを1本伸ばし、わき芽はすべて取り除きます。（図1）



植え付け後に過繁茂にならないよう、第1花房は確実に着果させましょう。（図2）

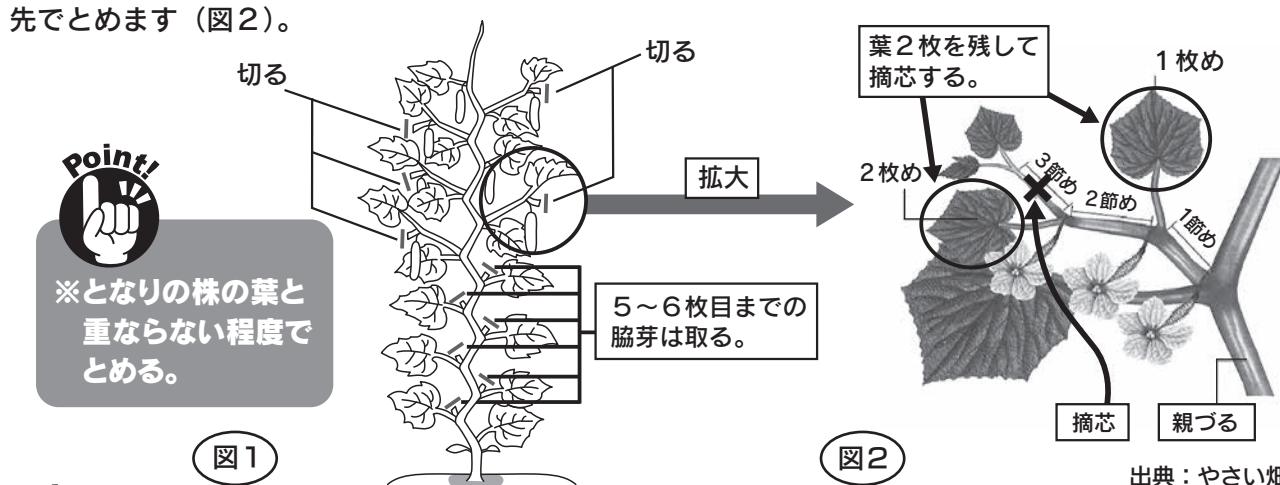


出典：やさい畠

(3) キュウリ（柴）

本葉5~6枚（節）までのわき芽はすべて取り除き、それより上のわき芽を伸ばします（図1）。

伸びたわき芽（子づる）は3節目以内でとめ、孫づる、ひ孫づるも同じように葉2枚を残してその先でとめます（図2）。



出典：やさい畠



- ・下位節からの実は奇形になりやすいので、わき芽の時点で早目に摘みましょう。
- ・風通しが悪くなると病気が出やすくなるので、重なりあっている大きな葉については適度にかき取り、被害葉は早目に取り除きましょう。

2. 追肥

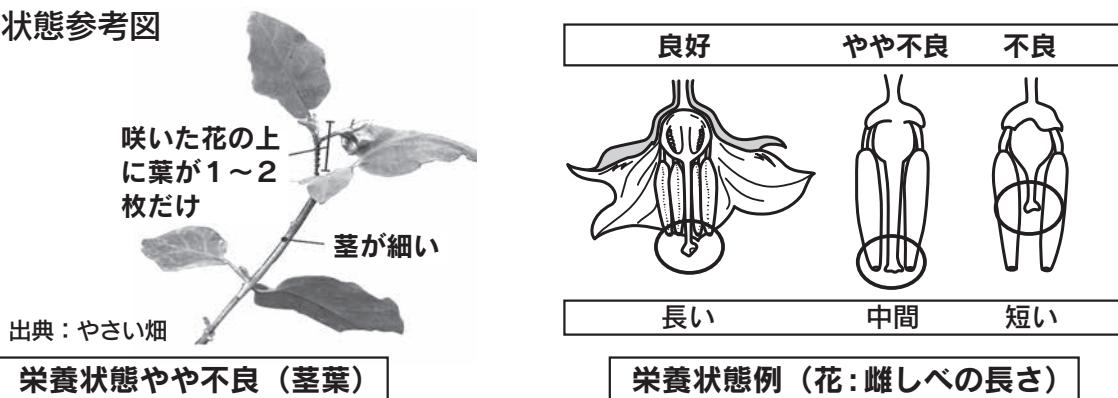
(1) ナス

生育期間が長いので、肥切れにならないよう収穫開始後、生育や果実の状態を見ながら追肥と灌水を行い、草勢の維持に努めましょう。生育後半に草勢が落ちてきた場合は、追肥の間隔を短くし灌水も行い肥効を促進させましょう。(液肥などの灌注は即効性あり)

<追肥例（追肥量・間隔）(10m²あたり)>

●1回の施肥量：NK化成200g程度 ●間隔：10～15日間隔（生育の状態を見ながら）

☆栄養状態参考図



(2) トマト

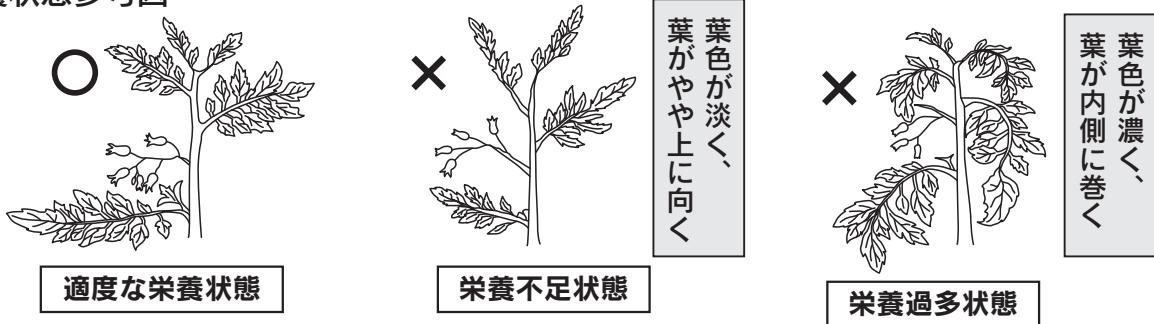
第3花房が開花するころから、生育の具合や第1花房の着果数・果実の太り具合を見ながら追肥をします。成長点付近の葉が細くなり、草勢が弱くなってきた頃が目安です。

また、草勢が極端に強い場合は、わき芽を伸ばして2本仕立てにすると、ある程度草勢を抑えることができます。

<追肥例（追肥量・間隔）(10m²あたり)>

●1回の施肥量：NK化成150～200g程度 ●間隔：10～15日間隔（生育の状態を見ながら）

☆栄養状態参考図



(3) キュウリ

肥料と水分が不足すると果実の品質が落ちて食味も悪くなります。本葉が6枚になるまでに咲く雌花・側枝はできるだけ早めに除去し、追肥は収穫の初期から生育・果実の状態に注意して、灌水と組み合わせて草勢を落とさないようにしましょう。

<追肥例（追肥量・間隔）(10m²あたり)>

●1回の施肥量：NK化成200～300g程度
●間隔：7～10日間隔（生育の状態を見ながら）

栄養状態
やや不良



【主な追肥肥料】

資材名	効果
NK化成	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。
燐硝安加里1号	野菜全般の追肥に使用可能。速効性の硝酸態窒素を多く含み、追肥に適している。また、土壤を酸性化させない。
くみあい液肥2号	野菜全般の追肥に使用可能。粒状肥料に比べ即効性あり。

3. 梅雨時期の野菜管理

梅雨時期は雨の日が続き、水はけの悪い畠では野菜の生育不良や病気になりやすい。



- (原因) • 畠に水がたまり、根の動きが悪くなり生育が滞り、病気に対する抵抗力が弱まる。
• 雨水による泥の跳ね上がりにより、多くの病原菌が作物に付着し、湿度の高い条件も重なり急激に増殖する。

対策

- ・梅雨入り前に畠に溝を掘り、排水を良好にする。（額縁排水溝…あぜみちNo2・P5参照）
- ・敷きわら・マルチを敷き、雨水による泥のはね上がりを防ぐ。雨よけを設置する。
- ・密植・過繁茂を避け、風通しを良くする。適正な剪定を行う。
- ・病気にかかった野菜の茎・葉・根などは早めに除去し、畠の外に運び出し病気のまん延を防ぐ。
- ・日々観察し、病害虫の早期発見・早期防除が重要。

上記対策を行った上で、殺菌剤など薬剤防除を行い発生予防に努めましょう。

品目	病害虫	主な症状・被害	防除薬剤（例）
キュウリ	べと病	葉に小さな斑点が発生し、徐々に広がっていく。症状が進むと葉裏にスス状のカビが発生し、のちに枯死する。	【予防】 <ul style="list-style-type: none">ダコニール 1000Zボルドー
トマト・ナス ピーマン	疫病	水がしみたような褐色の病斑が葉先から広がり、茎や果実にも発生。果実が凹み、腐敗・枯死する。	【予防+治療】 <ul style="list-style-type: none">ベンレート水和剤アミスター 20 フロアブル 等
4種共通	灰色かび病	特に果実での被害が大きく、果実を軟化・腐敗させ、のちに灰色のカビが密生する。	【予防+治療】 <ul style="list-style-type: none">マラソン乳剤アディオン乳剤モベント フロアブル 等
	うどんこ病	葉表に粉を吹いたような円形の白いカビが発生し、症状が進むと枯死する。	
	アブラムシ類	主に葉裏や新芽部分に寄生・吸汁し、成長を阻害する。吸汁による害のほか、各種ウイルス病を媒介する。	【予防+治療】 <ul style="list-style-type: none">マラソン乳剤アディオン乳剤モベント フロアブル 等
	ハダニ類	下葉から発生し、葉表がカスリ状に白く色が抜ける。	

※農薬を使用する際は、登録作物名・使用方法・倍率等を確認し正しく使用しましょう。

～組合員の皆様へ～ 適切な積載にご理解とご協力を！

荷を積載する際は、タイヤの空気圧を事前に確認するとともに、適切な重量、落下防止、車体からのはみ出し等が無いよう注意し、事故防止に努めましょう！

次号「あぜみち」予告

- 稻作…穂肥について
- 園芸…越冬用キャベツ、ニンジンの播種について

ご不明な点がございましたら、JAみなみ魚沼営農指導課
(アグリセンター大和 : Tel 777-3786 しおざわ基幹センター : Tel 782-1171)
までお問い合わせください。